



村上東中学校だより

令和6年6月27日発行 第3号

チャレンジングな学校が将来のウェルビーイングを実現する

校長

【本稿の要旨】

学業やスポーツ、文化活動、地域貢献活動などで優れた実績を上げ、人生に幸福感を感じる人に共通していることは、「チャレンジングである」ということではないでしょうか。チャレンジングとは、「難解だが興味をそそる、やりがいのあるさま」ということです。当校の生徒に、授業や特別活動、部活動で難しい課題に、チャレンジングな態度で、ワクワクしながら、自分の限界の力を出して取り組んでほしいと願っています。

ですが、独りで解けそうにない課題に限界の力を出し続けて挑戦することは持続が難しいことです。諦めや離脱を生じやすくなります。そこで、4人班で、1つの課題に4人で探究しながら取り組む学習を多く取り入れて、チャレンジングな学校を実現したいと考えています。個別最適化された学びは、自分が聞きたいこと、学びたいことを他者と対話して足がかりを得て学ぶ、協働的な学びと一体型で実現すると思います。

他者と協働して課題を解決する学び方（働き方）は、将来のウェルビーイング（社会に適応して自己の能力を発揮して幸せに生活すること）にもつながると思います。

スポーツトレーナーが「筋力をつけるには・・・」、大学教授が「授業の課題が簡単すぎますね」。

「筋力をつけるには、やっと10回動かせるくらいの重さでベンチプレスをするとうまい」とスポーツトレーナーに教えていただきました。「そうか、自分の限界の力を出して鍛えないと意味がないのか。でも、たいした時間を使わなくてもできるということか・・・」。

またあるとき、勤務校に大学の教授が来られたので、授業の様子を見ていただくために校舎を案内しました。生徒の授業態度を褒められることを期待していたのですが、いわく、「授業の課題が簡単すぎますね。生徒はもっとできますよ」。私は、ハッとしました。

この二つの体験からすると、授業の課題（や、生徒が取り組む諸課題）を難しくして、生徒が限界の力を発揮して日々成長するようにしたいという気持ちになりますが・・・。

チャレンジング(challenging)とディフィカルト(difficult)は違う

チャレンジングとは、「難解だが興味をそそる、やりがいのあるさま」という意味です。

⇒チャレンジングな仕事、チャレンジングな授業課題、

⇒困難だがやりがいのあることに挑戦をする生徒を、「チャレンジングな生徒」と言います。

ディフィカルトは「難しい」ということです。

この2つの違いは、チャレンジングのニュアンスは、「もしやってみれば、何かいい結果が待っている」という感じがします。

生徒に独りでディフィカルト(difficult)な問題に取り組ませても・・・いけない。

数学の新潟県公立高校入試問題をご覧になったことがある方はご存じだと思いますが、前半は易しくて正答率も高いのですが、後半にいくに従って難しくなり、最後の問題は手をつけなかった受験生もいるのではないかとされる難しさです。中学校の授業で難解な問題を扱わなければ、それを解く学力は育たないので、授業で単元ごとに必ず難しい問題を取り上げて扱うべきです。

前述の筋トレや大学教授の話引用したのもこのように考えているからです。

ですが、自分が持てる限界を超えた重さのベンチプレスを渡されても、筋トレをしようとは思いません。努力すれば動かせる(解ける)から、チャレンジングな問題ということです。

独りでは上がらないベンチプレスを上げるには？（難しい問題を解く、理解するには）？

独りで分からないで困っている状態から、チャレンジングになれるはずはありません。嫌になる、そのような問題に手をつけない、学習から逃避する、とならないように、チャレンジングな授業課題で授業をする必要があります。独りでは無理でも、誰かが力を貸してくれたらできるかもしれない。

そこで、「主体的対話的で深い学び」の授業づくりの「対話的な学び」を4人班で進めます。対話は、一方的な説明と違って、自分が聞きたいことを相手に問いかけ、答えてもらうものです。4人の班でこれを行うと、自分には無理だと思っていたことも足がかりを得て解決することができます。

ただし、「チャレンジング」とは、ヒントを得ながら自分で考えようとする姿勢のことで、ここが大事です。解答をすべて教えてもらっても、「重さゼロのベンチプレス」になるので、まったくトレーニングになりません。ヒントはもらうけれど、自分で考えることを絶対に忘れないでほしいと思います。

他者と協働して仕事を進める能力は、これからの社会を生きるために重要。

社会人になると、会社の同僚と協働して最善と思える方法を探り、会社全体で課題に取り組むという働き方になることがあると思います。他人の意見を参考にして自分の仕事をスキルアップすることが得意な人は、仕事にやりがいや幸福感を感じる確率が高いと言われます。中学校時代に、数学の問題などを、グループで解決する、分からないときは相談する、逆に他者を助ける、という経験はその後の生き方に大きく役立つと考えています。

村上東中学校を、いっそうチャレンジングな学校に。

もともと、村上東中学校は、ここで言うチャレンジングな学校として聞こえていました。授業への取組の良さ、特別活動の充実、明るい挨拶、部活動の熱心さなど、生徒が自分の限界に挑戦する学校という定評がありました。

「いっそうチャレンジングな学校」とは、具体的には、「生徒が授業中に、もっと難しい課題に、チャレンジングな姿勢で、4人で協働して挑戦し、個々の能力を高め合っていく学校」という意味です。私個人の考えでは、50分の授業では教師の説明は15分程度が妥当だと思います。残りのうち30分は生徒にチャレンジさせてほしいです。それも、独りで解かせるのではなく、可能な限り4人で取り組む、という方法によってです。

生徒がチャレンジングであることを褒める。

保護者の皆様におかれましては、生徒がチャレンジングである姿を見つけ、褒めていただきたいです。「困難なことに挑戦している、自分の限界に挑戦している」という状態のときです。よく、「頑張らなかったがテストの点数が良かったときに褒められ、頑張ったが点数が悪かったときには褒められない」という現象は誰にでも起こり得ると思いますが、チャレンジしていることを褒めていただければ、習慣化につながると思います。

そのために、学校や教師がすべきこと。

「すべての生徒に、学習でわからないことを気軽に相談できる、4人の班を用意する」、「授業で、難しくてワクワクしながら挑戦できる課題を用意する」、「教えすぎず、あくまで生徒同士の探究がうまく進んでいるかを見守り支援する(コーディネーター役をする)」という仕事が教師に求められます。安心して学ぶ居場所(班や教室)が、いじめの未然防止や魅力ある学校につながると考えます。まず学校の運営自体が、チャレンジングでなくては、と思います。

教育実習を終えて

5月27日(月)～6月14日(金)まで村上東中学校の卒業生である2名が教育実習を行いました。3週間の実習を終えた2名の先生からメッセージをいただきました。

先生より

村上東中学校の皆さん、3週間お世話になりました。

私が想像していたよりもたくさんの人に話しかけてもらえて、すごく楽しい毎日を過ごせました。これから皆さんには、部活動や学校行事と楽しいことがたくさん待っています。最高の中学校生活を送ってください。みなさんありがとう！！



先生より

村上東中学校のみなさん、3週間お世話になりました。

あっという間の3週間でした。大変なこともありましたが、それ以上に楽しく幸せな思い出で胸がいっぱいです。

これからも夢や目標に向かって充実した学校生活を送ってください。みなさん、ありがとう！



人権講話〈全校〉

6月11日(火)、村上市人権擁護委員協議会主催の人権講演会が行われました。DVD「温かさを分け合って」を視聴し、東日本大震災後の風評被害や偏見から人権について考えました。

「人権は幸せになるためにみんながもっている権利」この言葉が生徒の胸に響きました。



性教育講演会〈3年生〉

6月13日(木)、「村上東中学校の3年生と考える15歳の生と性」をテーマに助産師でもある講師の先生をお招きし、性教育授業が行われました。「性」について理解を深めるとともに、生命のかけがえのなさや大切さを感じることができました。



救急法講習会〈2年生〉

6月25日(火)、2年生を対象に救急法講習会が実施されました。新潟PUSH PROJECTのインストラクターから心肺蘇生法、AEDの使用法の実技を学びました。講習後の感想には、「もし人が倒れていたら勇気を出して助けたい。」「胸骨圧迫が思ったより力があることが分かった。」等がありました。応急手当の重要性も学ぶことができました。



2学年PTAレクリエーション

6月18日(火)、2学年PTAレクリエーションが行われました。ウェルネスむらかみから講師をお招きしてポッチャを指導していただきました。前半はポッチャのルールなどを指導してもらい、後半はチーム対抗でゲームを行いました。保護者・生徒・教師で楽しい時間を過ごしました。



1学年PTAレクリエーション

6月27日(木)、1学年PTAレクリエーションでは、講師をお招きしてビーチボールバレーを楽しみました。レク後は、学年・学級懇談会が行われました。学年懇談会では、学年主任がSNSの使い方や学習面について話しをしました。



下越地区大会に全力で臨みました。

6月7日(金)、21日(金)、22日(土)に中体連の下越地区各種大会が行われました。これまで、放課後や休日の練習等に一生懸命取り組んできました。さらに上位大会へ進む皆さんは、下越地区の代表として、また、村上東中学校すべての生徒の思いを胸に、精一杯頑張ってきてほしいと思います。

【バレーボール】

村上東 1回戦敗退
村上東・山北 1回戦敗退

【男子バスケットボール：ハングアウト】

3位 〈県大会出場〉

【野球】

Aブロック準決勝 敗退

【女子バスケットボール】

1回戦敗退

【サッカー】

準決勝リーグ敗退



【ソフトテニス：エイムハイ】

男子団体 1回戦敗退
女子団体 3位 〈県大会出場〉
女子個人 3位 〈県大会出場〉
5位 〈県大会出場〉



【卓球】

男子団体 準決勝リーグ敗退
女子団体 予選リーグ敗退
女子個人 3位 〈県大会出場〉

【柔道】

男子団体 2回戦敗退
女子団体 準優勝 〈県大会出場〉
男子個人 優勝 〈県大会出場〉
5位
女子個人 優勝 〈県大会出場〉
2位 〈県大会出場〉
2位 〈県大会出場〉
2位 〈県大会出場〉
3位 〈県大会出場〉

【ソフトテニス：N. N】

新潟市大会 団体1位
男子個人 3位 〈県大会出場〉



お知らせ

村上東中学校のホームページの「Blog」に、日々の学校生活の様子を紹介してあります。ぜひご覧になってください。

